

おめでとう二十歳

平成18年度成人式

平成18年度成人式は1月7日、総合体育館で行われました。新市誕生後、新成人が一堂に会して行われた初の成人式。1583人の新成人たちは大人としての自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



- 1 華やかな振り袖に身を包み式典に臨む新成人
- 2 新成人1260人と来賓、関係者、家族などたくさんの方が集まった総合体育館メインアリーナ
- 3 磐井太鼓同志会による演奏に合わせ登場した獅子舞も新成人を祝福
- 4 友人との再会を喜びあちこちで記念撮影
- 5 プロ野球巨人軍の木村正太投手も出席
- 6 出身中学校ごとに行われた記念撮影

成人の自覚と決意を胸に

今年の新成人は男性811人、女性772人の計1583人。式にはそのうち1260人が出席しました。小雨と強風のあいにくの天気でしたが、振り袖や紋付きはかま、スーツをまとう新成人の姿に、会場は華やかな雰囲気になりました。式典では、国歌斉唱に続き一関地域出身の菅原福史さんの先導により、全員が市民憲章を唱和しました。浅井市長は「社会人としての権利を得ると同時に、責任ある行動と地域社会への参画が強く求められます。自らの価値を認識し、怖れず臆せず堂々と歩んでください」と式辞。北村教育委員長から大東地域出身の都澤慶さんに市からの記念品が贈られました。

式典後のアトラクションとして、磐井太鼓同志会が勇壮な演奏を披露。その後出身中学ごとに記念撮影が行われました。会場は、家族や出席者からの温かい祝福の声や、記念写真を撮ったり懐かしい思い出話に花を咲かせる新成人たちの楽しい笑い声に包まれていました。式にはプロ野球巨人軍の木村正太投手も出席。年末に帰省して母校の一関一高で自主トレに励み、2月からハワイで行われる春季キャンプに向けて米国アリゾナで自主練習するという木村投手は「これまでの成果を生かし、今年は一軍で投げたい」と力強く語ってくれました。



新成人を代表してあいさつする千葉竜さん(右)と菅原久実さん

仙台に通い保育を勉強中です。大人としての実感はまだありません。子どもに好かれる保育士になり、早く社会の一員として貢献したいです。



千葉幸恵さん(一関)

養豚関係の会社に勤務しています。会社が発展するようしっかりと働きたいです。また所属する東磐卓球クラブで一つでも多く勝ちたいです。



小岩満さん(室根)

仙台で学生生活を送っています。卒業後は金融関係の仕事に就き、専攻している経済の知識を生かせたいと考えています。



三浦友里さん(川崎)

金ヶ崎町で自動車関係の会社に勤めています。二十歳になり、まず親孝行をしたいです。そして責任をしっかりと果たす大人になりたいです。



佐藤健太さん(花泉)

二十歳の抱負

もうすぐ盛岡の短大を卒業し、春からは県内で保育士として働く予定です。今まで育ててくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。



小野寺佳代さん(東山)

仙台の大学で経済を勉強中。将来は日本の経済に貢献できるように、責任ある仕事をしたいです。今は学生生活を思いっきり楽しみたいですね。



清水善郎さん(一関)

弘前の大学で地球環境を学んでいます。岩手に戻り高校教師になるのが目標。二十歳の実感はあまりないですが、立派な人間になりたいです。



千葉拓児さん(千厩)

お酒を飲むことがうれしいですね。市内の飲食店で楽しく働いています。人に喜んでもらえる仕事をずっと続けていければと思います。



菅原千寿さん(大東)